争 :	業番号	15 02 05	争未以	苦ソート	(29年度)	E施 事業分)		初要求	口当初予		■補正予算案		
事	業名	学校現場に	おける業務	改善加速	事業費			教育委員会		課・室		教育課	
				1 :	あわせ信州館	創造プラン(総合5か		¶ H29 ~	E-r	nail <u>gim</u>	nukyo@pref.r	nagano.lg.jp	
	プロジェ	:クト					THIE/						
	施策の	展開											
1 4	事業σ				改善し、子ど	もと向き合う時間の何	准保• 充킠	ミを図ろたる	かの総	29年月	在		
	現状 ^{算編成時)}	合的な方策」を策 減することを目標	具では、全国に先駆けて「教職員の業務を改善し、子どもと向き合う時間の確保・充実を図るための総 的な方策」を策定し、平成26年度から3年間で、公立小中学校における時間外勤務時間を30%程度終 することを目標にして業務改善に取組んできている。27年度の4・5月調査では、1人当たりの時間外勤 時間の合計が7.5%縮減となり、一定の成果が見られた。しかし、28年度の調査では、前年度とほぼ同							補正後	養額	7,792 千円 0.00 人	
		じとなり縮減が進 学校業務改善持	まず、更なる取 推進協議会を約	双組が求められ 狙織し、これま	ıている。 での各校に:	おける業務改善の現 こついての研究や、	状と課題	を明らかに	こして、新た	とな業務に	改善ポリシー	を策定する。	
目	指す姿	推進する。	でモデル市町	村として、負担	 担が大きい部	活動指導や学校徴							
	【区 分(単位:千円) 27年度 │ 28年度 │ 29補正後 │				指標及びその達成状況								
	Ī	前年度繰越		0	NI-	t 田 15 抽		07年帝士	28年度末		29年度		
	予 算 —	当初予算		0	No	774711171		27年度末	(見込)	目標値	直 成果	達成状況	
事業	額	補正予算 合計(A)	0 0	7,792 7,792	1	12月の時間外勤務 1人当たり45時間以下 数	等時間の学校	175校	171校	200核	艾		
未コ	AΦ	一般財源 県 債		0	2	モデル市の中学体 休日勤務時間		_	9時間23分 (4·5月12月 平均)				
ス	財源	国庫支出金	0 0	7,792 0	3	モデル市の小中学 時間外勤務時間網		_	_	10%			
٢	概算	算 額(B) 職員数(人)											
	人件	概算人件費 (C)	0 0	0									
	概算事	業費(B(A)+C)	0 0	7,792									
	果指標 定理由	増やす。 モデル市におい	て、1ヵ月一人	当たりの時間	外勤務時間次	・小中学校に波及さず45時間以上の学校より、中学校教員の体	とは、10%	程度の縮	減を図る。				
	補丑	Eにより取り組む 事業内容	② 年間 ③ 業務 ☆部 ☆学村 ④ 管理	の効率化と学 舌動における 交徴収金会計 !職のマネジメ	員の勤務時 ≠校サポート付負担軽減(大 業務の負担 ジト力強化と	間の正確な把握 本制構築の支援 町市教育委員会との 軽減(大町市教育委 軽減(大町市教育委 教職員の意識改革の がワーキングチームの	員会との のための	共同研究) 研修					
_		構成する細事業の内	内容					1 THE S	Net 1			(単位:千円)	
No	プロジェク No				29年度	年度 実施内容(予定)			数) (補 』	E前)	29年度 (6月補正)	(補正後)	
	学校現場における業務改善加 速事業								0	7,792	7,792		
+													

速事業	収金会計業務等の負担軽減	.0.子仪函		0	7,792	7,792
'	1	合計	0.00	0	7,792	7,792
					·	